

四国八十八ヶ所霊場 御開創千二百年記念事業  
『お砂踏み巡礼～遍路の心、届けます～』  
企画趣意書

四国八十八ヶ所霊場は今から 1200 年前、お大師様・空海上人によって開かれました。以来、お大師様を慕う多くの人々がそのご遺跡を辿って訪れ、現代にいたるまでその足跡が途絶えることはなく、世界に類をみない循環型の霊場「お四国」として発展をとげてきました。四国の人々はこのような巡礼者を「お遍路さん」と呼び、彼らをお大師様と見立てて暖かいもてなしでお迎えしてきました。

四国は今でこそ飛行機や鉄道、連絡橋の開通などによって地理的な不便さは随分と解消されましたが、交通手段の未発達な時代においては誰もが簡単に訪れることの出来ない、言わば「辺境の地」でありました。当時、人々が「死出の旅」へと挑むため、固い決意を持って四国の地を踏みしめてきたことは想像に難くありません。

遙か遠い地ではあるものの、どうにかしてお大師様が修行なされた四国と御縁を結びたい。そのような想いが込められて始まったといわれるのが「お砂踏み」の風習です。

四国をお詣りしたくても経済的に時間的に、あるいは体力的に困難な人々の為に、四国を参拝した修行者や僧侶が、各札所のご本尊の足元のお砂とご本尊の御影（「おみえ」御本尊を模写したもの）を持ち帰りました。そして八十八ヶ所のお砂と御影を並べ、御影を一心に拝しながらお砂を踏みまわれば、実際に遍路をしたのと同じ功德があると考えられたのです。

現代に至り交通手段は格段に発達しましたが、四国八十八ヶ所霊場の全行程は1400キロ近くに及び、車でも10日程度、歩きであれば40日以上もかかる長丁場であることには変わりありません。「お砂踏み」の風習は、今なお遠くにありて「お四国」を思う方々との御縁を結ぶ為に、各地で脈々と受け継がれてきています。

この『お砂踏み巡礼～遍路の心、届けます～』は、元来の「お砂踏み」の目的である「どなたにでもお四国を実体験していただきたい」という思いから実現しました。古来の修行者や僧侶のように、「お四国」の魅力を体験して頂くため、全国各地で「お砂踏み」を開催いたします。「お砂踏み」を通じて「お四国」にいまなお根付く暖かい思いに、そして世界的にも稀な「お四国」文化に触れていただくことを願ってやみません。

合掌

■日本全国47ヶ所以上を訪ね、「お砂踏み」を開催いたします。

「お砂踏み」をしていただくことで四国八十八ヶ所霊場巡礼を実体験していただき、あわせて「お四国」の文化の紹介、魅力をお伝えします。

■四国八十八ヶ所霊場が世界的にも類なき歴史的遺産、文化として、世界遺産に資するものであることをPRします。

四国八十八ヶ所霊場には1200年の歴史があり、今なお生きています。「お砂踏み」を通じて、「お四国」は世界に誇る文化であることを是非体感してください。